

平成29年度 数学セミナー(2単位)シラバス

担当:金城徹也 西銘生榮 豊里力也 伊礼直樹 福地薫 平良正和 島袋尚樹 又吉貴信

校長印		教頭印		
-----	--	-----	--	--

対象教科・科目	単位数	学年
数学セミナー	2	第3学年

1. 科目の概要等

科目の概要	数学I・Aについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を育て、それらを積極的に活用できるようにする。
主な学習内容	数学的知識と技能の習得を目指し、それらを積極的に活用する態度や、進学しようとする生徒の特性に応じて、数学I・Aの基礎的・基本的事項の習熟を図る。 数学的な見方や考え方の良さ、数学を活用する態度を育てるため、より深く学ぶ内容を提供する。
使用教科書・副教材等	Study Up ノート 数学IA

2. 学習計画及び評価方法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
第1学期	[数学I] 第1章 数と式 1. 式の計算 2. 実数 3. 1次不等式 4. 集合と命題 第2章 2次関数 1. 2次関数とグラフ 2. 2次関数の値の変化 3. 2次方程式と2次不等式	4	・式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	中間 考查
		5		
		6	・2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらの事象の考察に活用できるようにする。	期末 考查
第2学期	第3章 図形と計量 1. 三角比 2. 三角形への応用 第4章 データの分析 [数学A] 第1章 場合の数と確率 1. 場合の数 2. 確率	9	・三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	中間 考查
		10		
第3学期	第2章 図形の性質 1. 平面図形 2. 空間図形	11	・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。	期末 考查
		12	・場合の数や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
第3学期	第2章 図形の性質 1. 平面図形 2. 空間図形	1	・平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	学年 末 考 査
		2		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	・学習活動への取り組み ・課題・提出物の状況 ノート、プリントなど
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	・定期考查 ・提出物の内容
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・定期考查・小テスト
知識・理解	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	・定期考查・小テスト